

上北地区

自分たちの手で!!

10月3日(火)、橋浦小学校では、ふるさとこの産業である農業を、自分たちの手で育て、地域の方々と一緒に体験することで、ふるさとに関心を持つてもらおうと、毎年総合学習の一環として米作りを行っています。

5月に田植えをした苗が、黄金色の稲になりいよいよ刈り取りです。

この日は、稲刈り日和の天気で実習田の稲刈りを5・6年生38人で行いました。

農家の方に刈り取りの手順を教してもらい、慣れない手つきでカマを持ち、ひと株ひと株丁寧に稲刈りを体験していました。

この日刈り取りされたもち米は、11月の「ふるさとデー」で美味しいお餅になります。

しっかり頑張っってー!!



9月24日(日)、吉浜小学校において、「炎よ まい上がれ うなれ白波!」をテーマに吉浜小学校、吉浜学区合同運動会が行われました。

この日は、青空が広がる秋晴れのさわやかな1日で、徒競走や綱引き、チグハグリレーなどの競技に熱戦が繰り広げられました。

会場には応援する元気な声援や笑い声がいっぱいの楽しい運動会だったようです。



鹿地地区

もう聴こえないあの汽笛

9月30日(土)、網地島の皆さんの足として、長年活躍してきた牡鹿丸の最後の航海となりました。

鮎川港を午後3時30分に出港し、長渡港に午後3時45分、網地港に午後4時10分にそれぞれ寄港しました。昭和30年から51年間、網地島住民から愛され、親しまれてきた牡鹿丸の最後の寄港ということもあり、多くの方が港まで見送りに駆けつけてくれました。

住民の皆さんは、牡鹿丸に紙テープを付けたり、『さよなら牡鹿丸』などと言われた横断幕やプラカードなどを持って、牡鹿丸の最後の出航を見送っていました。

住民の皆さんと家族同然の付き合いをしてきた船長をはじめとした乗組員には、花束が贈られたり、握手を交わした



り、感謝の言葉などが掛けられています。

最後の乗客を乗せた牡鹿丸は、港内で2度3度と旋回を繰り返すと、別れを惜しむかのように鮎川港への帰路につき、網地島には牡鹿丸の姿を見送る住民の皆さんと、牡鹿丸の汽笛の音がいつまでも鳴り響いていました。

役目を終えた牡鹿丸は、新たに売却先で活躍することになっています。もし、旅先などで牡鹿丸と似ている船を見かけたときは、鮎川・網地島間の離島航路の要として、活躍していた牡鹿丸のことをもう一度思い出してください。

巻区 石地

川とふれあい、 下水道への理解を深める

10月1日(日)、中瀬公園などを会場に北上川フェア2006&下水道展が開催されました。

北上川フェアは、川への関心を高め、川を生かした地域づくりや地域交流について考える場として、毎年開催され、今回は12回目です。

北上川について知るブースはもちろん、実行委員会による、多くの出店が並び、訪れた人々は、川の恵みを知るとともに、クーキや炊き込みご飯などを味わっていました。



▲パックテストによる北上川水質実験

なかでも世界のバーベキューは、特に人気で、長い行列ができていました。

また、小学生以下の魚のつかみ取りも行なわれ、参加した子どもたちは必ず濡れになりながら、ニジマスとウナギを追いかけていました。(25頁カメラレポートに写真を掲載しています)

同じ会場で第23回石巻市下水道展も行なわれ、下水道絵画コンクール作品の展示・下水道なんでも相談コーナーなどが設けられ、訪れた人は、下水道の大切さを学んでいました。



▲下水道絵画コンクール作品展示

市民生活の活性化

共に生きる」の

大切さを知る

9月30日(土)、開北小学校を会場に「2006いしのまきふくしま祭り」が開催されました。

これは、市内でボランティア活動をしている37の団体が構成される「石巻市ボランティア連絡協議会」が主催し、今回で18回目となります。

この日は、早朝までの雨も上がり、施設のふれあいステージでは、ひたかみ太鼓をはじめ、手話ソング・車いすダンスなどが披露されました。

また、ハンディキャップ体験コーナーや盲導犬コーナー・ミニ新幹線・カレーライスや焼きそばの出店などが設けられ、楽しいなかにもハンディキャップを持つ人のことを理解し、共に生きていくことの大切さを知ることができるようになっていました。

訪れた大勢の人は、さまざまな個性の人と出会い、ふれあうことにより、福祉やボランティア活動に対する理解を深めていました。



文化の秋を楽しむ

9月23日(土)から石巻中央公民館において、第44回石巻市石巻中央公民館文化祭がはじまりました。

23日(土)・24日(日)には、サークル合同展が開かれました。

水墨画・俳句・川柳・書・押し絵などのほかに歴史研究サークルの発表パネルなど200点以上が展示されました。訪れた人は、アマチュアとは思えないでばえの作品に、感心しながら見入っていました。

30日(日)は、石巻かるた協会の「百人一首かるた大会」が開かれ、読み手が、上の句を読み上げるたびに取り札を探していました。

公民館文化祭は、このサークル合同展を皮切りに、短歌大会・民謡民舞まつりなど多彩な行事が、11月23日(日)の世代間交流ふれあい合唱フェスティバルまで続きます。

